

お知らせ

〔役員の改選〕

五月三〇日開催の通常総会において新役員が選任されました。

(敬称略・順不同)

- 理事長 上田 恒夫 (北海道農業信用基金協会会長)
 副理事長 直 宗治 (JA北海道中央会副会長)
 常務理事 七戸 長生 (酪農学園大学教授・北海道大学名誉教授)
 常務理事 富田 義昭 (元ホフレン審議役)
 理事 塩沢 照俊 (拓殖大学北海道短期大学教授)
 理事 太田原高昭 (北海道大学農学部教授)
 理事 吉原 弘行 (北海道信連副会長)
 理事 板垣 淳一 (ホフレン代表理事副会長)
 理事 宮田 勇 (JA北海道共済連代表理事副会長)
 理事 武田 弘道 (JA北海道厚生連代表理事副会長)
 理事 竹内 正一 (北海道町村会農林常任委員長)
 理事 向田 孝志 (北海道農業開発公社理事長)
 理事 安井 努 (市民生協コープさっぽろ会長)
 理事 内山 俊昭 (農林漁業金融公庫北海道支店長)
 理事 沼野 郁夫 (農林中央金庫札幌支店長)
 理事 澤田 善弘 (全国農業協同組合連合会札幌支所長)

▼第6回通常総会



代表監事 鈴木 政二 (北海道農業共済組合連合会会長)
 監事 坂本 和夫 (JA渡島大野代表理事組合長)
 〔参与および幹事の委嘱〕
 本年度、当研究所の事業運営にご助言をいただき、参与および幹事を、次の方々に委嘱いたしました。
 (敬称略・五十音順)

参与

- 岩崎 徹 札幌大学 経済学部教授
 岩船 修 (株)協同組合通信社 取締役社長
 枳穀 勝久 JA根室 代表理事組合長
 黒河 功 北海道大学 農学部農業経済学科教授
 黒柳 俊雄 札幌大学 経済学部教授
 駒場剛太郎 共和町長
 佐久間 衛 専修大学北海道短期大学 教授
 佐々木市夫 帯広畜産大学 畜産学部畜産管理学科教授
 高島 勝利 北海道町村会 事務局長
 寺西 敏男 JA北海道中央会 常務理事
 中川 正男 北海道ジャーナリストの会 会長
 中村文士郎 北海道立中央農業試験場 副場長
 梨木 隆之 北海道農政部 農業企画室長
 藤田 久雄 ホフレン 代表理事常務
 古川 嗣彦 北海道農業試験場 農村計画部長
 堀内 一男 酪農学園大学 酪農学部酪農学科教授
 三島 徳三 北海道大学 農学部農業経済学科教授
 山田 定一 室蘭工業大学 教授

幹事

- 石川 治徳 ホフレン 役員室次長

市川 治 酪農学園大学 酪農学部農業経済学科教授
 井上 勝秀 北海道開発局 局長官房開発調査課農林水産班
 奥田 仁 北海道大学 経済学部教授
 松岡 良行 北海道信連 融資部長
 倉知 拓野 岩見沢市上幌向 農業者
 坂下 明彦 北海道大学 農学部農業経済学科助教
 嵯峨井 喬 J A北海道中央会 営農生活部長
 志賀 永一 北海道大学 農学部農業経済学科助教
 柴田 憲 J A訓子府町 参事
 鈴木 隆志 市民生協コープさっぽろ 生活文化本部長
 谷本 一志 北海道東海大学 国際文化学部教授
 西村 直樹 北海道立中央農業試験場 経営部研究員
 野田 哲治 J A浜中町 生産部長
 日村 勉 北海道農政部 農業企画室主幹
 村瀬 慎治 J Aひがしかわ 営農課長
 矢代 和則 J A厚沢部町 管理部長



研究会・研修会等への
 報告者・講師の派遣

(平成八年六月〜八月)
 ○日の丸会・特別講演
 主催 日の丸会・(株)日の丸産業
 社
 と き 平成八年六月14日
 テーマ 「北海道における農産物の生産・流通の現状と課題―農作物の産地形成とアグリビジネスの役割―」

講演者 富田 義昭(当研究所・常務理事)
 講演者 大沼 盛男(北海道大学・教授)

○J A理事者研修会
 主催 J Aところ
 と き 平成八年六月21日
 テーマ 「常呂町第四次農業振興計画について」
 講演者 飯澤理一郎(北海道大学農学部・助教)

○農地保有合理化事業連絡調整会議・研修
 主催 北海道農業開発公社・十勝支所
 と き 平成八年七月30日
 テーマ 「農地価格に関する今後の動向」
 講演者 谷本 一志(北海道東海大学・教授)

○第三回日韓農業経済研究者
 研究交流集会
 主催 北海道農業研究会
 と き 平成八年七月18日
 テーマ 「WTO体制下の日韓の地域農業振興の課題」

●第三セッション
 「北海道における野菜の産地形成」
 報告者 富田 義昭(当研究所・常務理事)

○平成八年度第一回若手職員勉強会
 主催 農林中央金庫札幌支店
 と き 平成八年八月2日
 テーマ 「北海道農業の現状と課題」
 講演者 富田 義昭(当研究所・常務理事)

○農地担当職員研修会
 主催 北海道農業開発公社
 と き 平成八年七月24日
 テーマ 「北海道における農地価格を巡る諸問題」

○農地保有合理化事業連絡調整会議・研修
 主催 北海道農業開発公社・北見支所
 と き 平成八年八月9日
 テーマ 「農地価格に関する今後

の動向」

講演者 谷本 一志 (北海道東海
大学・教授)

〇平成八年度中央アジア特設
「農産物市場経済コース」研修

主 催 国際協力事業団 (JICA)
A) 北海道農政支部

と き 平成8年8月16日

テーマ 「北海道農業の営農シス
テム」

講演者 富田 義昭 (当研究所・
常務理事)

〇農地保有合理化事業連絡調整
会議・研修

主 催 北海道農業開発公社・
道北支所

と き 平成8年8月20日

テーマ 「農地価格に関する今後
の動向」

講演者 中原 准一 (酪農学園大
学・教授)

〇中標津町農業・農村づくり
講演会

主 催 中標津町

と き 平成8年8月22日

テーマ 「根室農業の展開方向」
講演者 七戸 長生 (当研究所・
所長)

DATA FILE

関連事項 / DATA

J A 北海道中央会
〒060 札幌市中央区北4条西1丁目
☎011-232-6413

ホクレン米穀部
〒060 札幌市中央区北4条西1丁目
☎011-232-6235

ホクレンパールライス部
〒060 札幌市中央区北4条西1丁目
☎011-232-6249

ホクレンマーケティング本部
〒101 東京都千代田区東神田2-9-5
☎03-5851-3011

J A いしかり
〒061-33 石狩郡石狩町八幡2丁目332
☎0133-66-3321

酪農学園大学
〒069 江別市文京台緑町582-1
☎011-386-1112

北海道大学農学部
〒060 札幌市北区北9条西9丁目
☎011-716-2111

編集後記

▼一〇〇年目の近代オリンピック。通信技術の目ざましい発達によって、真夏のアトランタから熱戦の様相が連日鮮やかな映像で茶の間まで届きました。各種の競技で次々と新記録が生まれ、人類の運動能力は限界を知らぬ気になえみえました。とかく国威発揚が先行

し、メダル獲得競争に目を奪われがちにも感じられましたが、平和の一つの証として世界中の国や地域から、やっぱり「参加することに意義がある」のオリンピック。うたかたの真夏の夜の夢に終わらせず、21世紀への幕開けとなる次のシドニーにつないでほしいものです。

▼能力アップと言えば、様々な病原菌も薬品に対する抵抗力を強めていると聞きます。抗生物質の効能によって、一時期姿を消したと思われていた結核菌も世界中に蔓延しているようです。そしてこの夏、日本列島はO-157に怯えることとなりました。たかが太陽菌程度と思っていた節もあり、感染経路も探し出せず目に見えない細菌に振り回されました。生食が危ないと報

じられたため、野菜や畜肉の相場が下落する有り難くないおまけまでつき、ついにカイワレダイコンが新聞の二面トップに躍り出ました。

▼七月二日ローマ発共同通信は、国連食糧農業機関 (FAO) と国連人口基金 (UNFPA) の予測として、世界の人口は二〇五〇年に九七億人 (一九九五年の五七億人) に対し七二%の増加、これに見合う食糧の供給には七五%の増産が必要と報じました。増産が必要な地域は、アフリカ三〇〇%、中南米八〇%、アジア六九%、北米二〇%となっています。再三、食糧危機が叫ばれるアフリカ・中南米・アジアの深刻な様相を改めて知ると同時に、世界のパン竜と自他ともに任じていた北米も危ういとなると、食糧自給の必要性が重みを増します。(K・T)